

# 天理教 江南支部だより

発行先 江南支部  
発行日 立教188年 8月1日  
発行責任者 九里正昭  
発行住所 甲賀町神1750番地の1  
8月号 N0300



教祖百四十年祭

## 立教188年 こどもおぢばがえりが開幕

7月27日、本年のこどもおぢばがえりが開幕した。本年は例年より少し短く8月3日までの8日間となる。猛暑の中ではあるが、子供たちの笑顔は満開、連日歓声が溢れている。

滋賀教区は本年も京都教区と合同でこども横丁を担当。支部からも少年ひのきしん隊をはじめ、大勢のひのきしん者が行事を運営している。暑い中ご苦労様です。



## 悟る力を身につけよう

ある男性が、こんな話をしてくれました。

私の父親は、教会長を務めていました。ところが、五十九歳で突然出直しました。当時の私は、「父は誰よりも一生懸命、神様の御用にとめていたのに、どうして出直さねばならなかったのだろう？」と納得がいかず、お道の教えに不信感を抱きました。そして「もう、天理教の信仰なんてやめてしまおう」とまで思ったのです。

そんなとき、父の母である祖母に、こう諭されました。

「おまえのお父さんは、九歳のとき、お医者さんもさじを投げるほどの大病を患ったんだよ。そのとき私は、親神様をお願いしたんだ。『いまこの子が出直したら、教会を継ぐ者がいなくなり、わが家は断絶してしまいます。たすけてください』<sup>あかつき</sup>には、必ず息子にお道の御用をさせますから、どうぞ五十年、命を与えてください」と。それからちょうど五十年経ったきょう、

お父さんは出直した。親神様は、こんな無理な願いを聞き入れて、約束をきちんと果たしてくださったのだから、私は一つも恨んでいないよ。むしろ、ありがたい思いでいっぱい、お礼を申し上げたんだよ」

その話を初めて聞かされた私は、衝撃を受けました。「もし、父が九歳で出直していたら、私も生まれていなかった」。そう思うと、生かされていることへの感謝の思いが、ふつふつと湧いてきました。そして、父のような素晴らしい教会長を目指そうと決意したのです。

「おふでさき」に、「このよふハリいでせめたるせかいなり」（二二）とあります。

この世は親神様のお働きによって治められている世界で、成ってくることはすべて、親神様のお計らいによるものです。

この男性は、父親の出直しという大節に信仰心がぐらつきました。けれども、おばあさんから話を聞いて、親神様のお働き、温かい親心を実感し、見

事に節を乗り越え、素晴らしい決意をしたのです。

「信仰しているのに、なぜつらい目に遭うのか」と嘆く人には、このおばあさんのように、親神様の理の世界について、教え諭してくれる人が必要です。

さらには、なぜそうなったのか、親神様の思召はどこにあるのかということ、寄り添いながら一緒に悩み、考えてもらえたら、その人の心は再び親神様のほうを向くはずですよ。

理の世界を実感するには、悟る力が大切です。おたすけ経験を積み重ねることにより、悟る力はついてきます。また、教友の信仰体験を聴かせていただくことも、その糧<sup>かて</sup>となるでしょう。悟る力をしっかりと身につけて、誠のようぼくを目指していただきたいと思えます。



## 『みちのとも』より一寸いい話

どんなときも教祖がたすけてくださる

安藤恵介 元宮名分教会長

教祖百十年祭へ向かう仕上げの年に

結婚し、毎朝5時半に上級教会へ日参する心定めをしました。

百二十年祭への仕上げの年には、父が出直し、会長として年祭を迎えました。地域に根ざした布教を心がけ、参拝場4畳の教会が、少しずつにぎやかになりました。

そして、百三十年祭への仕上げの年には、大きな節をお見せいただきました。8月、ある行事のため家族で大教会に泊まった、その夜中のこと。信者Kさんから「息子が置き手紙を残して行方不明になった」との連絡。隣で寝ていた上級の会長夫妻が私たちの様子に気づき、一緒に大教会神殿で、夜中の2時から十二下りのお願いいづとめを勤めてくださいました。

Kさんの話では、息子さんの車が港で見つかり、翌朝から3日間、一斉捜索されるとのこと。私たちは教祖に、なんとか命をつないでくださいとお願いしました。どうかこの拍子木の音が届くようにと、猛暑の中、教会から十数キロ先の上級教会まで神名を流したり、家族で何度もお願いいづとめを勤め

たり、ひたすら祈り続けました。

3日目の夕方、捜索が打ち切られ、諦めかけたとき、「発見されて病院に運ばれた」と連絡が入りました。普段は誰も入らない草むらに倒れているのを、久しぶりに見回った管理人が発見したそうです。見つかった時刻は、上級の会長が、さらに上級の教会へ運び、皆でお願いいづとめを勤めてくださっているさなかでした。

その後、当人は「何度も海に飛び込もうとしたけど、その瞬間に体が動かなくなつた」と。

ご存命の教祖のありがたさ、そして、わが事として動いてくださった上級教会の方々の真実に、感謝の涙が溢れました。その後、Kさん家族は教会に欠かせない人材となり、息子さんは別席を運び、自衛隊に入隊。現在、能登半島地震の後方支援に努めています。

結婚して29年、上級への日参を続けてきたおかげで、どんなときも教祖が、その道筋を通して教会をたすけてくださっていると実感しています。ひながたを慕って、日々コツコツとおたすけ

に励み、教会のよふぼくにも心をつないで、少しでも成人した姿を教祖にご覧いただきたいと思えます。

## みちのだい育み塾 開催案内

主催 江南支部婦人会

日時：8月31日（日曜日）午前10時～  
会場：大原郷分教会 甲賀町神1750番地の1  
対象：子育て中のお母さん、またはその年代の方  
女子青年  
内容：サイコロトーク  
締め切り：8月26日（教会を通じてお申し込みください）

婦人会支部主任 山崎千鶴子（大原市場分教会長夫人）

## 教区啓発委員会が現地研修会を実施

7月4日、啓発委員会は本年度の現地研修会を開催、支部から6名が参加した。今回は、終戦80年を迎え改めて平和の大切さを学ぶことを目的に、「舞鶴引揚記念館」を訪れた。舞鶴港は昭和33年の最終船まで13年間にわたり、大陸やシベリアからの引揚者を受け入れ、その使命を果たした。また、「赤レンガパーク」を見学し、海軍ゆかりの場所や海上自衛隊の係留所に停泊中の複数の艦船を間近にし、平和の意味を改めて問う機会となった。



### 教区布教部主催 にをいがけ勉強会

日時：8月31日午前10時開講 会場：教務支庁

内容：講話、にをいがけ

講師：西川 寿一先生（第一線で布教し、情熱あふれる教会長）

参加費：500円

申込締切：8月20日 支部布教部まで

### 9月鹿深の家ひのきしん

9月5日午前9時から11時30分

### 8月支部にをいがけデー

8月28日（木）午前9時～

拠点教会 龍池分教会 甲南町野尻734

